

【2026 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
英語Ⅱ-1 (人間コミュニケーション学科-2025)		必修	1	2	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
井上 美奈子	B311	minoue		月・火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>グローバル化が進む中、福祉、心理学などの分野で働く対人援助職者にとって英語コミュニケーション能力も不可欠となる。英語Ⅱ-1は福祉、心理学分野に関連する語彙を増やし英語表現力や文献読解力を身につけ英語コミュニケーション能力を修得することを目的とする。</p> <p><概要>基本的な文法の知識を確実にするための講義や演習、基礎医療、福祉、心理学分野に関連した内容を扱う。健康科学大学オリジナルの教科書を使い読解力や語彙を増やすための学習を行う。また、ICT (Information and Communication Technology 情報通人技術) を活用し CALL(コンピューターを使った英語学習)もとりいれ、自己学習法を提案する。簡単な会話文を作成し練習することにより発音やリスニング、コミュニケーションスキルが身につけられるように構成されている。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク		
学習上の助言	授業は積極的に参加すること。英語読解では英語能力向上につながる音読を推奨する。					
教科書	English for Rehabilitation, Care & Support II –Human Communication Version 19/健康科学大学/2026年					
参考書	英和辞典、英英辞典					
外部教材	CALL (Computer Assisted Language Learning) 活用					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	基本的な英文法を理解し応用できる。			HSU (2)		
②	福祉、心理学に関する文献を英語で読んで理解できる。			HSU (2)		
③	福祉、心理学分野にかかわる英語の語句、用語、言い回しが理解できる。			HSU (2)		
④	日常、専門分野において基本の英語コミュニケーションがとれるようにする。			HSU (2)		
⑤	CALL等を利用し自主的に英語勉強できる方法を身につける。			HSU (2)		
⑥	会話文の作成ができる。			HSU (2)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション シラバス (授業内容、成績評価法等) 及び授業の進め方について理解する。英語 I-1,I-2 の復習をプリントを使って行い、質問に答える。	講義・演習	Unit 1 の単語を予習する。	0.5		
2	Unit 1 Regenerative Medicine iPS 細胞に関する語彙を学習し reading を行う。	講義・演習	教科書 (配布資料) を読み iPS について確認し復習する。	1		
3	Unit 1 Regenerative Medicine 前回に引き続き reading を行い、Listening、Grammar の演習を行う。	講義・演習	教科書 (配布資料) を読み課題を確認、復習する。	1		
4	Unit 1 Regenerative Medicine Review 課題とそのフィードバックから学習した内容をプリントで学び内容を確認、復習し小テストに備える。	講義・演習	iPS 細胞の授業内容を復習し、総復習プリントを完成させる。	1		
5	Quiz 1 Regenerative Medicine /CALL 学習サイトで listening、grammar、speaking の練習をする	講義・演習 小テスト	オンラインサイトで英語学習する。	1		
6	Quiz 1 を返却しフィードバックを行う。課題を通して CALL を使って会話練習を行いペアでスクリプトを作成する。	講義・演習	会話応答文を作成し会話テストの準備をする。	1.5		
7	発表(role play) 会話テスト (スピーチ) を行う。発音の練習を行う。会話テストに関するフィードバックを行う。	講義・演習	第 6 回の授業で仕上げた会話練習を行い発表に備える。	1		
8	Unit 4 Super Aged Society Topic に関連する語彙、言い回しを修得する。	講義・演習	高齢化社会に関する語彙を確認し復習する。	1		
9	Unit4 Super Aged Society 前回学んだ語彙使い reading、listening、grammar を学ぶ。	講義・演習	比較級・最上級を確認復習する。	1		
10	Unit4 Super Aged Society グラフの読み方を学ぶ。Unit 4 で学んだ内容を確認、プリントで復習し小テストに備える。	講義・演習	教科書を読み授業内容を確認復習する。クイズ準備をする。	1		
11	Quiz 2 Superaged Society / Unit5 Dementia 関連する語彙を学び、reading を行う。疑問文を学ぶ。	講義・演習 小テスト	語彙の確認と疑問文の復習をする。	1		

【2026 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

12	Quiz 2 を返却しフィードバックを行う。 Unit5 Dementia reading を行う。グラフの読み方を学ぶ。	講義・演習	グラフの読み方の確認や認知症の症状を復習する。	1
13	Unit 5 Dementia で学んだ内容を学んだ内容を確認、プリントで復習し小テストに備える。	講義・演習	Unit5 の確認復習を行いクイズの準備をする。	1
14	Quiz 3 Dementia 最新の新聞記事を読み、単語や表現方法の応用を学ぶ。	講義・演習 小テスト	新聞記事で使用されている単語や表現法を復習する。	1
15	Quiz 3 を返却しフィードバックを行う。 これまでの学習内容をプリントで確認し総括をおこなう。	講義・演習	教科書や小テスト、復習プリントを使い、確認を行う。	1
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	20	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	各ユニットが終了後の Quiz (筆記試験形式 3 回 計 30%) 学期末に定期試験(筆記試験 40%)を行う。各試験では授業中に取り組んだ課題の内容に基づく問題を出題し、理解度を筆記試験で問う。				Quiz、試験の添削、返却
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①		会話文を作成しロールプレイで発表を行う。 スクリプト 10%、発表 10%				スクリプトの添削と会話評価
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		授業中グループで行う文法・語彙・リーディングの課題における参加姿勢、意欲を評価する。授業欠席はグループ活動に参加していないとみなし減点する (10%)。				評価のポイントを説明と全体の講評
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①	✓					
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備考							
その他	授業中の私語は禁止。授業態度に問題がある場合は退出してもらおう。 様々な課題の提出期限を厳守すること。 履修者の理解度によって講義の進行速度を調整する。進行の調整は講義中もしくは Teams でアナウンスするので、適宜確認すること。止むを得ずシラバスの変更が生じる場合は授業・Teams 等で周知する。 対面授業ではあるが、連絡・資料配布等に Teams を使用する。						